

令和 8 年度 第 1 回東京都サービス管理責任者等研修検討会 議事録【要旨】

日 時 令和 8 年 5 月 2 9 日（金曜日）午後 2 時から午後 4 時まで
 開催場所 東京都心身障害者福祉センター 1 2 階研修室
 出席者 妹尾委員長、宮田副委員長、丹澤副委員長、岡田副委員長、相良委員、吉田委員、横山委員、徳嵩委員、樋口委員、小出委員、清水委員、鈴木委員、皆川委員、瀬川委員
 欠席者 渡辺委員
 事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 和田 他 5 名
 東京都障害者施策推進部職員 1 名
 株式会社インソース職員 3 名

1 開会

事務局	- 資料確認 次第 資料 1 令和 8 年度東京都サービス管理責任者等研修検討会委員名簿 資料 2 東京都サービス管理責任者等研修検討会設置要綱 資料 3 令和 8 年度障害者総合支援法等関連研修検討会の構造図（案） 資料 4 令和 8 年度障害者総合支援法等関連研修年間スケジュール（案） 資料 5 令和 8 年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 年間活動方針及び計画案について 資料 6 東京都のサービス提供事業において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む職場のリーダーの姿 Ver. 5 参考資料 1 令和 7 年度東京都サービス管理責任者等研修検討会 活動報告 参考資料 2 令和 7 年度東京都相談支援従事者研修検討会 活動報告 - 研修の委託先の株式会社インソース職員と、本研修を所管している東京都職員が参加している。 - 記録のため速記者が参加と録音させていただくこと、また、今回の検討会の議事録（要旨）はホームページでの公開対象であることについて、ご了承いただきたい。ただし資料については、出席委員の意見により公開、非公開を決めることができる。
-----	---

2 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長挨拶

和田地域支援課長	- 令和 8 年度第 1 回東京都サービス管理責任者等研修検討会の開催に当たりまして、事務局を代表して一言ご挨拶をさせていただく。 - このたびは大変お忙しい中、本研修検討会の委員としてお力添えいただけることを大変ありがたく、深く感謝申し上げます。 - 新たな委員として社会福祉法人足立邦栄会の瀬川様、社会福祉法人けやきの杜の鈴木様に加わっていただけること、大変心強く思っている。 - 本検討会は国の示す標準カリキュラムを具体的なプログラムに落とし込み研修当日のプログラムが効果的に進むよう、研修で使用する教材づくりなどを行うことを目的としている。
----------	---

	・今年度は昨年度の横断的な課題の議論を踏まえて、集中的な検討を行うために、部会を設置して検討を進めていく予定としており、研修の実施に当たっては、今年度の研修委託先である株式会社インソースの皆様と連携しながら、円滑な研修運営を行い、都内の障害福祉サービスに必要な人材をしっかりと確保できるよう努めてまいりたい。 ・地域での障害児者の豊かな生活の実現を目指し、受講した方々が、それぞれの職場で力を発揮できるようなプログラムとなるよう、委員の皆様と一緒に研修づくりを進めてまいりたい。
--	--

3 委員等紹介

各委員	・自己紹介（記録省略）
インソース職員	
東京都職員	

4 検討事項

（１）委員長・副委員長選出

①委員長の互選

事務局	・資料２、検討会設置要綱第５の規定に基づいて、委員長を委員の皆様より互選していただきたい。
宮田委員	・明星大学教授の妹尾先生を推薦する。
各委員	（異議なし）
妹尾委員長	・皆様のご推薦、ご承認に感謝する。 ・昨年度は、研修をよりバージョンアップしていくために、初めて横断的な課題の分析を皆さんで丁寧にしていただき、具体案や今年度の研修にどこまで反映させていくかをかなり詳しく検討いただけた。 ・今年度の研修や資料等の修正、バージョンアップに皆様のお力添えをいただきたい。 ・私も皆様のご期待に沿えるように努力していくので、よろしくお願いしたい。

②副委員長指名

妹尾委員長	・副委員長は、昨年度に引き続き基礎研修は岡田委員、実践研修は宮田委員ということで、更新研修は丹澤委員にお願いしたいが、皆様いかがか。
各委員	（異議なし）

（２）研修実施計画について

妹尾委員長	・今年度の研修の実施計画に進みたい。 ・令和８年度の動きについて、事務局からご説明願う。
事務局	・資料４の表をご覧ください。 ・サービス管理責任者等研修検討会は年４回開催予定で、本日が第１回。第２回を８月２４日、第３回を１１月２０日、第４回を来年３月

	11日に予定している。 ・演習指導者養成研修は東京都が直接実施をする研修で、定員は50名、基礎研修の第1回と第2回の演習に併せて実施する。5月20日に申込みを締め切り、6月1日に今年度の受講者を決定する予定。 ・基礎研修、実践研修、更新研修、専門コース別研修は、東京都の委託を受け株式会社インソースが実施する。 ・改めて東京都とインソースの役割を確認したい。研修教材の検討や作成は、こちらの検討会と東京都で担当し、インソースは、各研修の実施案内、申込受付、当日の研修運営、受講者の出欠状況の把握などを担当する。 ・東京都は、研修運営に間に合うように教材を提供しなくてはならないため、検討会委員の皆様におかれては、今年度も教材作成の進捗管理にご協力をお願いしたい。 ・各研修の定員は、資料右端に記載のとおり、昨年度から変更はない。基礎研修は2,600人、実践研修は1,400人、更新研修は1,200人。 ・基礎研修第1回と第2回の定員割合は昨年度から変更し、第1回が1,500人、第2回が1,100人になる。 ・現在、第1回基礎研修の申込期間中。定員に対して申込みが低調であったため、申込期間を1週間延長し、6月1日が締め切りとなる。 ・専門コース別研修は昨年度作成した障害児をテーマにした講義動画を今年も利用し、オンデマンドで配信の予定。 ・国の実施する指導者養成研修は今年度も9月に開催の予定で、9月15日は専門コース別研修についてオンラインで実施、9月16日から18日までの3日間は、基礎・実践・更新研修をテーマに、会場開催で実施。今年度は会場が所沢の国立リハビリテーションセンターに戻ること。 ・東京都からの参加者推薦について事務局から委員の皆様に変更して相談をさせていただくので、ご協力をお願いしたい。
妹尾委員長	・何か質問や確認事項等はあるか。このスケジュールで進めいくことでよろしいか。
各委員	(異議なし)
妹尾委員長	・検討事項の3になるが、昨年度の引継ぎ事項等も踏まえ、年間の活動方針案及び計画案について事務局から説明をお願いしたい。
事務局	・昨年度からの引継ぎ事項として、参考資料1活動報告の4ページ目、次年度の取り組みをご覧いただきたい。 ・基礎研修からは、ほかの研修と共通して使用する図表等を、随時検討会全体に共有して、一体感のある研修づくりをすること、研修で使用する資料やツールをより分かりやすく理解につながるものに整えること、演習指導者養成研修については、基礎研修一丸となって取り組むこと等があがった。 ・実践研修からは、個別支援の一連の流れの理解促進を図ること、OJTの内容が盛り込めるようにすること、OJTは研修受講者の管理者も意識、関与できるような方法を検討すること、他の研修と連動性が

ある内容となるよう、資料や用語を統一できるようにすること等があった。

- ・更新研修からは、使用する会議の名称をほかの研修と統一すること、他の研修との連動も意識し、用語集を横断的な課題として整理することなどがあがった。
- ・このほか、昨年度の研修実施の結果を踏まえて、科目の組替えや具体的な進め方等、それぞれの研修の中で検討する事柄が挙げた。
- ・これらの引継ぎ事項を踏まえ、今年度の年間活動方針と活動計画事務局案を作成した。資料5をご覧ください。
- ・年間活動方針として四点、あげた。
- ・一つ目は、東京都のサービス提供事業所において障害児者の豊かな生活の実現に向けて取り組む現場のリーダーの姿V e r . 5に基づき研修内容を検討すること。
- ・二つ目は、基礎研修、実践研修、更新研修で使用する教材のブラッシュアップを図るとともに、研修全体を見渡し、つながりを意識した研修プログラムを作成するため、抽出した横断的な課題を各研修に反映させること。
- ・三つ目は、各研修のポイントや役割について、演習ファシリテーターの理解を促進するため、ファシリテーター説明会の内容を検討すること。
- ・四つ目は、質の高い研修を継続して実施するため、次期講師の育成と講師間の関係づくりを目的としたサービス管理責任者等研修演習指導者養成研修を実施すること。
- ・以上の4点を令和8年度の活動方針案とした。
- ・検討体制案としては、今年度も委員長以外の検討会委員は基礎研修、実践研修、更新研修の研修チームのいずれかに参加し、研修のプログラムについて検討していく案を考えた。
- ・基礎研修は、吉田さん、相良さん、岡田さん、徳嵩さん、横山さん。実践研修は、清水さん、小出さん、樋口さん、渡辺さん、宮田さん。更新研修は、瀬川さん、鈴木さん、丹澤さん、皆川さん。
- ・研修検討チームは、異なる障害福祉サービス分野から参加いただくチームになっている。分野の垣根を越えて活発な意見交換をお願いしたい。
- ・演習指導者養成研修は、実習の場が基礎研修になるため、基礎研修チームの吉田さん、横山さんに入ってください案になっている。
- ・専門コース別研修は、昨年度作成したプログラムを今年度も利用する。振り返りの中で、配付資料を若干ブラッシュアップすることになったので、昨年度に引き続き、児童分野の委員と相談支援従事者研修検討会の委員の合同チームで検討する予定。
- ・新たに追加をした項目は2点ある。一つ目が、研修教材の検討・作成に当たり、ほかの研修の教材を参照できるようにすること。二つ目が、受講者の効果的な学びを促進するため、それぞれの研修で使用している用語を整理し、「用語集」を作成するための部会を設置すること。

	・裏面の年間活動計画案は資料４、年間スケジュールに合わせた形で研修の教材作成スケジュールを落とし込んでいる。 ・事務局からの説明は以上になる。
妹尾委員長	・皆様からご質問や確認事項等あれば挙手でお知らせいただきたい。
各委員	(挙手なし)
妹尾委員長	・では、資料５に記載の受講者の効果的な学びを促進するためにそれぞれの研修で使用している用語を整理し、用語集を作成するための部会を設置するということ。部会設置は、委員長権限になるということ。 ・「用語集の作成部会」を設置ということで、部会名もこの名前のままでよろしいか。
各委員	(異議なし)
妹尾委員長	・検討事項の４に進めさせていただく。ここからは研修ごとの検討チームに分かれて意見交換をしていただく。 ・事務局から提案のあった今年度の年間計画と活動方針を踏まえ、検討チームごとに検討いただく。 ・１点目は、今年度の各検討チームの活動内容とスケジュールの確認。２点目は、用語集の作成部会の委員の方の推薦。各部会から２名までご推薦をお願いしたい。 ・予定どおり１５時半から各チームからの報告をお願いしたい。

(グループ討論)

妹尾委員長	・時間になったので、各チームの副委員長から検討した結果の報告をお願いします。 ・最初に新しい用語の部会にどなたがチームから選出予定かをご報告いただき、検討内容のご報告という形でお願いできたらと思う。 ・では、基礎研修は岡田委員、実践研修は宮田委員、更新研修は丹澤委員という形で、それぞれ５分程度で報告をお願いします。
岡田副委員長	・基礎研修からの部会員は、相良さんと岡田と思っているが、皆さんが一人だったら一人でいいと思っている。 ・基礎研修は、昨年１２月に終わってから、今年度に向けて動き出してきた。話し合いを月１以上重ねた上で、今月が演習ノートの締め切りで提出し、ここ数年の課題だった講義動画にもようやく着手できた。 ・今年度大きく変えたのが、サービス担当者会議（以下「サ担」という。）のロールプレイを入れたところ。 ・これまで毎年のように課題で、相談支援との連携連動とか、サ担との連携連動とか言いながら、サ担を取り入れられてなかったところを大きく見直そうということで、プロセス図に沿って１日目にサ担のロールプレイを入れている。 ・プログラムの今までは個別支援計画をつくって演習１日目が終わって、演習２日目に作り切れてなかったところの再作成の時間を取ってという流れだったが、サ担のロールプレイを１日目に入れたので、計画作成が演習初日にできなくなった。 ・演習最終日の朝に個別支援計画をつくり始める流れになっているので、このプログラムが、時間的にもどうできるか、皆さんのお力も借

	りながら、第1回で検証していきたいと思っている。 ・また、サ担のロールプレイは初日の午前中、いきなりになる。相談支援専門員役は多分受講者には厳しいので、その役割をファシリの方に担ってもらう形で組み立てている。 ・一方で今年度も演指研の方が何十人、去年度の方も多分50人、その前の方も50人と、基礎研修はベテランファシリさんが少なくなっているの、その辺りのフォローも考えていかないといけない。ファシリテーター説明会の役割が、今までに比べて増してきていると思っている。 ・プロセス図も各演習でちょっとずれていたのを、統一したものに作り直し、同じものを各演習で提示していこうというふうにした。この辺りも皆さんに周知して見ていただければと思っている。
宮田副委員長	・実践研修は、資料完成が10月末ぐらいなので、今方向性などを確認しているところ。 ・部会のメンバーは清水さんと樋口さんをお願いしたい。 ・メーリングリストで回ってきた、基礎研修の「実践研修までのOJT」は問題ないかと思う。 ・ICFは教室進行とファシリテーターにご協力いただいていたが、まだ難しいところがある。説明はするが、実際のアセスメントシートは少しシンプルな方向に直す。 ・基礎研修の内容をより定着させることを重視し、プログラムの流れを変える。最初に井上さんの事例を使ってアセスメントをして、個別支援計画作成会議をして、その後に協議会の部分が入ってきて、井上さんの課題を地域課題として落とし込んで考えてみるころまでを行う。 ・一旦そこで区切って、助言指導についての説明をした後に、今度は竹村さんの事例を使う。 ・井上さんのケースは事例検討会で完全に落とし込んでしまったので、違う事例で、更新研につながる、SVにつながるワークに変える流れで今年度はやってみたい。 ・事例についても変更点等があると思うので、関連資料を共有させていただきたいと考えている。 ・会議の名称について、基礎研修では個別支援会議が個別支援計画の同意を得る会議だったと思う。 ・会議は「広げる」と「深める」の2種類があり、「深める」の方に個別支援会議が入っていたと思う。 ・個別支援計画作成、検討の会議は、個別支援会議で総称する感じで書かれていたが、実践研はニーズ調査や個別支援計画作成前に事業所で考えるところから、全部個別支援会議になっていた。 ・個別支援計画に関するものは個別支援会議で総称するのでもよいかと思うが、事業所でやらなければならない会議とプラスアルファでやったほうがよい会議は、きっちり分けたほうがよいという意見もあった。 ・サービス担当者会議や個別支援会議は、制度上の名称をそのまま使用

	する。一方で、個別支援計画の検討に向けた会議は、事業所ごとに名称も違うと思うし、保護者の参加を含めた形で実施している場合もある。そこまでは難しい場合もあると思うので、絶対ではないものは「個別支援計画作成のための会議」などの名称に整理してはどうか。 ・ 個別支援会議が含むものが多過ぎると受講者が混乱する可能性がある。 ・ 基礎研修側からも意見をいただきたいし、用語集の整理にも関わる内容になるが、このような方向で会議名称の整理を進めていきたいと考えている。
丹澤副委員長	・ 用語集の委員は、新しく入っていただいた鈴木さんと、以前から用語集に関わっていた私の二人で担当させていただけたらと思う。 ・ 次に、スケジュール及び担当分担について。今回、2名が退任し、新たに2名が加わったことから、担当を全面的に見直すか、退任者の担当部分を引き継ぐ形とするかについて検討を行った。 ・ 検討の結果、徳武さんの担当部分は、作成者である徳武さんに確認や相談をしやすい環境にあるので、瀬川さんが引き継ぐこととした。また、会田さんの担当部分については、鈴木さんが引き継ぐ方向とした。 ・ 会田さんが担当していた「演習6 更新研修のまとめ」については、私が担当することとし、その代わりに私が担当していたオリエンテーションを鈴木さんに担当していただくこととした。このように、一部担当を調整した上で分担を整理している。 ・ 前回の検討会で更新研修チームが協議した結果、更新研修において個別支援計画を振り返る機会がないと、受講者が自己流になっている部分を見直すことが難しいとの意見があった。そのため、演習1において個別支援計画の振り返りを行う内容を簡潔に盛り込む方向で検討している。 ・ 演習4のペアワークについては、受講者同士の雑談に流れてしまう場面が見られたことから、進行を明確にするため、「次はステップ2ですよ」「次はステップ3ですよ」といったアナウンスを適宜行うこととした。 ・ 演習5の教室全体で行うスーパービジョンは、役割をもう少し増やして、教室進行とサビ管役だけが忙しくならないようにする。 ・ 最後の演習6のまとめについては、事後動画に「さあ、東京の福祉を」という盛り上がる部分が入っていたので、そちらを対面のほうの研修に入れることにした。 ・ 基本的には昨年使った資料や動画をベースにするが、どうしても変更しないと難しい動画は再撮影を考えている。 ・ 6月第1週に資料を提供していただき、熟読し、6月11日のオンライン会議で、修正や動画の撮り直しについて話し合う方向となった。
妹尾委員長	・ 各チームの皆様、ご報告ありがとうございました。 ・ 皆様のほうから質問や確認はあるか。実践と基礎の方向性や整理については、いかがか。
岡田副委員長	・ 検討を重ねる中で、プロセス図に示している「個別支援会議」につい

	て整理の必要性を感じている。実際の支援現場では、プロセス図で示している以上に複数回の会議や打合せが行われており、本人の意向を確認する場や、本人に支援内容を説明する場など、さまざまな機能を持つ会議が存在している。 • これまでは基礎研修において、こうした内容を面談等として扱ってきたが、改めて考えると、それらも個別支援会議の一部と捉えることができるのではないかという議論があった。また、現在「個別支援会議」と呼んでいるものが具体的に何を指すのかについては、十分に整理できていない。 • 支援チーム内で本人の意向や支援方針を確認したり、支援者同士で方向性を共有したりするための打合せについても、それらをどのような名称で整理するのかが課題となっている。この点について検討を進めてきたが、今回の改訂には間に合わなかった。 • 本来であれば、プロセス図にもこうした支援会議を位置付けたいと考えていたが、いろいろな名称があるとややこしくなる懸念もあった。 • そのため今年度は、進行スライドや演習ノート、講義の中で、支援チームとして本人や支援者の意向をその都度確認しながら支援を進めることの重要性を伝える内容を盛り込んでいる。 • この点については、用語集の部会においても確認していきたいと考えている。
横山委員	• 今年度は、「個別支援会議」を利用者本人に関することを検討・決定する会議の総称として整理する方向で考えている。個別支援会議には、利用者本人が参加し、意思決定支援の考え方を基本とすることを前提としている。本人の意思確認が難しい場合には、意思の推定を行いながら進める位置付けである。 • サービス担当者会議については相談支援に関する会議として区別して整理できると考えている。 • しかし、現場では「支援者会議」「担当者会議」「ケース会議」などさまざまな名称が使われており、事業所ごとに呼び方は異なるものの、実際に行っている内容は大きく変わらない場合が多い。そのため、それらを細かく分類するよりも、「個別支援会議」という総称で整理した。 • いずれにしても、この整理には難しさもあった。
宮田副委員長	• まず「個別支援会議」という言葉が広い意味を含むものであることを、研修の冒頭などで説明する方法もあると思う。どの整理の仕方を採用するにしても、説明がなければ受講者には伝わりにくいと思う。 • 横山さんの意見にもあったように、利用者本人がいない意思決定はないから、計画作成にはご利用さんが常にいるべき、意思を尊重するべきという説明があれば、多分ストンと落ちると思う。 • あわせて、会議を「深める場」「広げる場」として整理した図表についても、改めて検討したい。どの会議をどの位置付けとするのか、また、その説明をどのように行うのかについては、さらに整理が必要である。研修ごとに説明の仕方や強調するポイントが異なる可能性もあるため、できるだけ統一したい。

	・名称も基礎研修の資料を確認しながら整理を進めたい。資料の最終確定は秋を予定しているため、それまでに検討を重ねて決定したい。
横山委員	・私見になるが、やらなければならない会議という形で紹介すると、加算のためにはやらなきゃいけないとか、減算になっちゃうからとか、そういうことにならないような配慮は必要かと思う。
妹尾委員長	・先ほどの議論にもあったように、会議については、その場で押さえるべき方向性や指針と、会議の在り方についての名称をどこまで広い意味で使うのか、あるいは各事業所の運用に委ねるものなのかについても整理が必要である。 ・一方で、障害者総合支援法に基づいて制度上位置付けられている会議や、運営基準や加算の要件として求められている会議と、事業所が実践の中で行っている会議とは、ある程度区別して整理したほうがよい。そうした整理がないまま用語を使うと、受講者からすると、どのロジックでこの用語が使われているのかが分かりにくくなり、混乱するかもしれない。 ・そのため、各チームの資料の内容とあわせて、用語の整理についても今年度整理できるとよいと思った。
丹澤副委員長	・更新チームの昨年度資料では、担当者ごとに異なる会議名称が使われていた。受講者に「会議がたくさんあって大変だ」という印象を与えかねないので、基礎チームや実践チームが作った名称で統一していこうという話があった。 ・名称の統一に向けては、改めて整理や協議を行う必要があると感じた。
妹尾委員長	・ありがとうございました。他にご意見がなければ、用語集作成部会の設置について確認したい。 ・先ほどの報告の中で、各チームから部会委員をご推薦いただいたが、この部会を正式に設置するためには、私から委員を指名することが必要とのことである。そのため、改めて委員のお名前を確認させていただく。 ・基礎研修からは相良委員と岡田委員、実践研修からは清水委員と樋口委員、更新研修からは丹澤委員と鈴木委員となる。 ・各チームから2名ずつ、計6名で用語集作成部会を設置することとしたいが、よろしいだろうか。
各委員	(異議なし)
妹尾委員長	・各チームからの報告をいただくことができた。 ・それでは、第2回検討会に向けた進め方や、用語集作成部会の進め方について、事務局から今後の予定や進行方法をご説明いただきたい。
事務局	・第2回検討会も本日と同様に、各研修チームに分かれてプログラムや教材について検討いただく予定である。 ・研修の実施時期によって検討内容は異なると思われるが、それまでの間は各研修チームにおいて、メーリングリスト等を活用しながら検討を進めていただきたい。事務局職員も参加しているため、第2回検討会で議論すべき内容については、事前に整理を行った上で当日を迎えたいと考えている。

	・また、本日も意見があったとおり、作成した研修教材を継続的に保管・確認できるようにするため、東京都のグループウェア利用基準に基づき、Microsoft Teamsのファイル共有及び共同編集機能を活用する予定である。 ・利用に当たっては、東京都の情報資産に関する秘密保持の誓約が必要となる。検討会終了後に手続についてご案内するので、少しお時間をいただき、ご協力をお願いしたい。 ・次に部会についてである。後日、指名された部会委員の皆様に対し、事務局から就任依頼及び部会への参加依頼文を送付する予定である。内容をご確認いただき、承諾書など必要書類の提出にご協力をお願いしたい。
妹尾委員長	・議事録と資料のホームページの公開について、委員の皆様、ご了承ください。
各委員	(異議なし)
妹尾委員長	・では本日の検討事項が済んだことを宣言し、進行を事務局に戻す。
事務局	・妹尾委員長、進行ありがとうございました。 ・第2回検討会までに、本日の議事要旨を事務局で作成し、委員の皆様へメールで送付する予定である。内容をご確認いただいた後、議事要旨を当センターのホームページに掲載する。 ・また、第2回検討会は8月24日(月)14時から16時までの予定である。会場は本日と同じ研修室を予定しており、詳細については改めて案内する。 ・以上をもって本日の検討会を閉会する。委員の皆様には、ご多忙の中ご出席いただき感謝申し上げます。